

チーム名：すまいるオレンジ白石



会場：コミュニティホーム白石

開催頻度/時間：週1回金曜日14:00～16:00

チームメンバー数（参加者実人数）：家族2人、サポーター7人、その他11人

活動内容

サポーターが先生となり
季節の工作



- ・1週目：工作（季節の折り紙や工作等）
- ・2週目：運動（モルック等）
- ・3週目：講話等
- ・4週目：交流会（季節の行事等）

をベースとして、
参加メンバーと一緒に楽しめる内容を、
ミーティングでサポーターと話し合い検討しています。

工夫点

サポーターの活躍
（百人一首を教わっています）



・サポーターに昔遊びの先生や折り紙の先生、書道の先生等が居て、みなさんに楽しく丁寧に教えてくれています。

サポーターとの連携



・月1回のミーティングでサポーターと参加者の情報を共有し、お手伝いが必要な方等のサポート体制を作っています。

チームメンバーよりひとこと★チームのアピールポイント★

家族から

認知症の事を学んだり、皆さんの色々なお話を聞けて、とても勉強になっています。

オレンジサポーターから

とにかく笑顔になって帰っていける場にしたいです！
認知症になっても孤立しないように、今から繋がり作りをしませんか？



オレンジコーディネーターから

認知症のある方もない方も誰もが楽しめる場として、すまいるオレンジが徐々に浸透してきています。今後は家族同士が気軽に悩み事を吐き出せる場を作っていきたいです。



チーム名：すまいるオレンジ北都



会場：北都地区会館

開催頻度/時間：週1回火曜日13:30～15:30

チームメンバー数（参加者実人数）：本人1人、家族1人、サポーター8人、その他12人

活動内容

本人も含めた参加者みんなが楽しめる取組「モルック」



- ・1週目：工作（季節の折り紙やバルーンアート等）
- ・2週目：運動（モルック）
- ・3週目：講話・映画鑑賞等
- ・4週目：交流会（季節の行事等）

をベースとして、
認知症本人や参加メンバーと一緒に楽しめる内容を、
ミーティングでサポーターと話し合い検討しています。

工夫点

サポーターの活躍



・サポーターがそれぞれの特技を活かして、バルーンアートの講師や合唱の伴奏を行っています。

サポーターとの連携



・月1回のミーティングでサポーターと参加者の情報を共有し、お手伝いが必要な方等のサポート体制を作っています。

チームメンバーよりひとこと★チームのアピールポイント★

本人から

「身体を動かすのが好きです。みなさんとお話できるのも楽しいです。ここに来るのを楽しみにしています。」

オレンジサポーターから

学んだり運動したり遊んだり、色々な方と交流も出来る楽しい場です。認知症がある方もない方も、ぜひ一度遊びにきてください！



オレンジコーディネーターから

認知症のある方もない方も誰もが楽しめる場として、すまいるオレンジが徐々に浸透してきています。今後は地域の企業や専門職をさらに巻き込んで、チームオレンジの活動を地域に根差していきたいです。



チーム名：スマイルオレンジ東札幌



会場：東札幌会館

開催頻度/時間：毎週金曜日 13：00～16：00

チームメンバー数（参加者実人数）：本人5人、家族2人、サポーター12人、その他8人

活動内容

認知症の人もサポーターと一緒に
手作りゲームで楽しむひととき

数字盤や絵合わせ盤をみんなで作成してゲームをしたり、サポーターが
手作りしてくれた介護予防すごろくやひらがなポーカー、ソリティア等々、
毎回活動の一部として笑顔で楽しんでいます。



本人も交えて認知症を理解し、進行を遅らせる活動やフリーの時間

認知症の理解や進行を遅らせる策などを本から抜粋して共有したり、図書館を利用して借りた絵本を音読したり...。その日にしたいことをグループに分かれ、創作やおしゃべり、ゲームに取り組むなど本人はサポーターと一緒に活動しています。時に、認知症に関するトピックスをサポーターから発信することもあります。



個別マッチングの実施

話し相手が欲しいという本人の希望により、サポーターさんが月1回1時間ほど、自宅を訪問して傾聴しています。

工夫点

認知症月間に「オレンジランプ」上映会を開催



認知症月間の9月に、地元の図書館の協力を得て上映会を開催し、スマイルオレンジの周知も行いました。参加者みんなでポスター作りなどに励み、イベントの後には拠点に参加する方もいました。

拠点の場の看板づくり



デザインや色など、みんな
なでアイデアを出し合い、時間をかけて作りま
した。季節ごとに装飾品
を衣替えしていくことを
決めて取り組んでいます。

これは秋バージョン

チームメンバーよりひとこと★チームのアピールポイント★

本人から

お友達が沢山でき、楽しい。
お話ができます！



オレンジサポーターから



みんなに会えると笑っている。大声で楽しんでいる。最初はイヤイヤ連れ込まれ、今は率先して参加し毎週が楽しみ。会話を交わし、ゲームなどで脳を刺激し、楽しみながら認知症を正しく理解しています。認知症になっても馴染みの地域で自分らしく暮らせるように...認知症の方、不安を持っている方や関心のある方、一度見に来てください！

オレンジコーディネーターから



ここのスマイルオレンジはとにかく明るいです！そしてオレンジサポーターさんたちは、皆優しく平等に接してくれます。今後はもっと地域の生活関連の機関にもチームオレンジの活動を知っていただき、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指していきたいです。皆さん一人一人の力を合わせて未来を作っていきましょう。

チーム名：スマイルオレンジ北白石



会場：北郷瑞穂会館

開催頻度/時間：毎週火曜日 9:30~12:00

チームメンバー数（参加者実人数）：本人2人、家族2人、サポーター7人、その他3人

活動内容

認知症の理解をはじめをとる学習や脳トレ体験を参加者みんなで！



本人も交えてみんなで活動しています。コグニサイズや音読・ゲームなどの脳トレ、折り紙を使っての創作、時には介護事業所の方からお話を頂いたり、動画を通して認知症の理解を深めたりしています。会館を出て公園散歩も…。



工夫点

地域のお祭りで周知活動



色々な世代の人に認知症やチームオレンジを知ってもらおうと、町内会の協力を得て、地域のお祭りに繰り出す準備をしました。炎天下の中、チラシを折り込んだティッシュとロバ隊長を配りました。

拠点の場の看板づくり



デザインや色など、みんなでアイデアを出し合い、時間をかけて作りました。季節ごとに装飾品を衣替えしていくことを決めて取り組んでいます。

これは冬新年バージョン

チームメンバーよりひとこと★チームのアピールポイント★

本人から

皆さんのお話が聞けて、楽しく過ごさせていただいています。各人それぞれ発言できて良いことかと思っています。

オレンジサポーターから



認知症の人もそうでない人も、一人一言は発言し、語り合い、楽しく頭と身体を動かして勉強になります。道で会ったら声をかけてくれる。笑顔が絶えず、みんなに会える日は嬉しい！そして次に会える楽しさがあります！



オレンジコーディネーターから



メンバーはお互いを尊重し、ワイワイと集まって楽しく、時には真面目に少しずつ認知症を理解し、自分事として備えてきています。そしてサポーターさん達は本人にやさしく声掛けし見守っています。認知症の方や家族の方、関心のある方も一度、会場に来てください。お待ちしております。

チーム名：スマイルオレンジチーム白石東



会場：白石東地区センター

開催頻度/時間：毎週火曜日/13：30～16：00

チームメンバー数（参加者実人数）：本人1人、家族1人、サポーター20人、その他10人

活動内容

本人の居場所、安心して通える拠点の場づくり



- ・本人が「いつでも来れる場所、安心してこれる居場所」になるような雰囲気づくりを行っている。
- ・参加者の意見を聞きながら、知りたい・学びたい事を集約し講師、地域関係者等呼んで交流も行いながら認知症になっても安心して住み続けられる地域となるような拠点となっている。

個別マッチングの実施

- ・R8.3より地域のサービス付き高齢者向け住宅にて認知症の方の傾聴ボランティアを週に1回開催。オレンジサポーター4名の方がお話し相手と一緒にゲームを行っている。

工夫点

関係機関とのネットワークづくり



- ・チームオレンジの活動を知ってもらうために地域にある様々な事業所に説明に伺い拠点の場所への参加へ声掛けをした。

地域の事業所との連携



- ・チームオレンジの活動についての説明を行い、認知症の方が地域とつながりを持つ方法を共に模索し、事業所内にある畑づくりと一緒に取り組む事になった。

チームメンバーよりひとこと★チームのアピールポイント★

本人から

「不安でたまなくて、自分が参加してよいのかと思うことがあるけど、ここに来ている人は皆温かく迎え入れてくれます。来るとホッとします。通い続けたいです」

オレンジサポーターから

私たちのチームは「認知症になってもこの場所にはこれる、ここに来ている人には認知症だと話せる場所にしたい」を合言葉に、毎週活動しています。認知症になっても大丈夫。ぜひいらしてください！

オレンジコーディネーターから

チームオレンジの活動を地域の人が自分事として理解し、認知症のある方もない方も参加者が増えています。地域の関係機関、事業所の方も温かく活動に賛同してくれています。チームオレンジが当たり前の事となり、誰もが自分らしく最後まで住み続けられるまちへとつながっていく事となります。



白石区第3地域包括支援センター

チーム名：スマイルオレンジチーム本郷



会場：小規模多機能すみれの花 2階食堂

開催頻度/時間：第2、4金曜日 13：30～15：30

チームメンバー数（参加者実人数）：本人3人、家族2人、サポーター5人、その他5人

活動内容

チームオレンジの普及について話し合い



・地域の人へチームオレンジの活動を知ってもらう事、拠点へ集まってもらうためにはどうしたらいいか話し合いを重ねている。地域にある事業所等見学会を行ったり、講師を呼んだり地域のイベントへ参加しチームオレンジの普及をしている。

本人の希望「〇〇をしたい」を実現

・認知症当事者の方がやりたいことを小規模多機能の利用者の方と一緒にしたり、披露させて頂く機会を頂いている。



工夫点

関係機関とのネットワークづくり



・地域のCMや関係機関の人を呼んで講師や交流の場としている。また話し合いにて知りたい事や見学したい場所に行く機会を作っている。

地元のお店・事業所との連携



・地域の人が集まりやすい店舗を会場とし、ステップアップ講座を開催。店舗スタッフも認知症への興味関心が高まり、スタッフ向けの認知症サポーター養成講座の開催依頼があり実施。

チームメンバーよりひとこと★チームのアピールポイント★

本人から

認知症になっても好きなことができている。治療もしながら毎日の生活が充実しています

オレンジサポーターから

自分ができることはしたいです。子供から高齢者まで、認知症の方もいない方も、一緒に集える場所をつくってほしいと思います！



オレンジコーディネーターから

チームオレンジの活動が始まる前から、自分にできることはしたいという気持ちがある方が多い地域です。認知症の正しい理解が地域に広がり、認知症がある方もいない方も、誰もが住みやすい地域となるようなまちづくりを目指します。





会場：地域のお茶の間サロンくるくる

開催頻度/時間：第1金曜日 13:30~15:30

チームメンバー数（参加者実人数）：本人0人、家族1人、サポーター3人、その他5人

活動内容



参加者の希望を聞きながら取組

・地域のサロンの場所を借りて月に1回開催。
認知症の人や認知症の人の家族が参加できるためにはどうしたらよいか、参加して下さる地域の方と話し合いをしている。
興味を持って頂くよう、講師を呼んで学びの会や写経などを行う会を企画した。

工夫点

関係機関とのネットワークづくり



・サロンの主催者や、介護予防センター、地域の見守りも行っている企業の方ともチームオレンジについて共有しネットワークづくりを行っている。

地域のイベントへ参加



・サロンがある地域のイベントへ事業所の協力の元参加し、拠点の活動や認知症の普及啓発を開催。50名以上の地域の人に参加。

チームメンバーよりひとこと★チームのアピールポイント★

オレンジサポーターから

認知症の正しい理解と、認知症の予防について学ぶことや、認知症になってもこの地域で住み続けられるよう活動しています。居心地の良い場所です！

オレンジコーディネーターから

地域のサロンの場所をお借りして開催している拠点です。チームオレンジの理解が地域に少しずつ広がってはきていますが、認知症のある方もない方も気軽に集まれる場所として、さらに地域に根付き、誰もが住みやすいまちづくりにつながります。

